

○平成 30 年度教育事業

「親子で楽しむ山登り」(H30.7.7 (土) ~7.8 (日))



◆目的

親子で富良野岳を登り、自然への理解を深め、親子のきずなも深めます。

◆参加実績 (募集 20 組 50 名)

○参加者 14 組 39 名

- ・旭川 11 組
- ・中富良野 2 組
- ・比布 1 組

○ボランティア 3 名 (日帰り 2 名)

親子で楽しむ山登り H30.7.7(土)-8(日) 1泊1日

□趣旨 親子で富良野岳を登り、自然への理解を深め、親子のきずなも深めます。

□対象・定員 小学生・中学生を考えた親子 / 20 組 50 名

□登山コース 「選べる3コース」

- ①遊園地～富良野岳山頂コース (標高 1,912M)
- ②遊園地～富良野岳標榜分岐コース (標高約 1,800M)
- ③安政火口で火山の地熱を計ってみよろコース (標高約 1,500M)

□費用 (予定) 3 歳以上未就学児 1,850 円 (保険代・シューズ代・食事代)
小学生 2,050 円 (保険代・シューズ代・食事代)
中学生以上 2,070 円 (保険代・シューズ代・食事代)

□講師 (予定) 美瑛町郷土学館「美瑛」職員

□内容 【1 日目】 14:00 集合、ウォークラリー (登山の練習)、翌日の準備
【2 日目】 コース別登山 雨少雨決行、15:30 解散

参加者 ☆☆☆☆



◆プログラム

- ① 「歩く練習をしよう (前半: 十勝岳連峰について知る)」
美瑛町経済文化振興課 スポーツ推進室 齊藤 丈朗氏
 - ・翌日、登る山がどのような山なのか理解するために十勝岳や富良野岳の成り立ちや火山の歴史、登山コースのポイント等を学んだ。
- ② 「歩く練習をしよう (後半: ウォークラリー)」
 - ・翌日使う荷物や靴を履き、身体をならすことを目的に、施設周辺をフィールドとしたウォークラリーを実施した。起伏があるコースで、良い足慣らしとなった。
 - ・終了後、講義で聞いたことやウォークラリーの活動を踏まえ家族内で、コースの最終選択を行った。
- ③ 「翌日の準備」
 - ・登山を行う際に必要な道具がきちんと揃っているか確認するために、装備チェックの時間を設けた。また当日の服装も確認することで、装備の適正の有無を指導することができた。



④ 「コース別山登り」

○山頂コース、300 階段コース

- ・計画予定では富良野岳を目指す予定だったが、残雪の影響により上富良野岳にコースを変更した。
- ・このコースでは、同コースを選択した家族同士が声を掛け合い、つらい所を乗り越える姿が見られた。また晴天に恵まれ、安政火口や十勝岳の雄大な姿を見ることができ、家族の思い出に残る山登りとなった。

○望岳台周辺コース（たびうさぎファミリー合同）

美瑛町経済文化振興課 スポーツ推進室 齊藤 丈朗氏

- ・このコースでは、火山特有の岩石や火砕流が流れた跡などの話を講師から聞くとともに、十勝岳の自然に触れることができた。また同日程で行われていたたびうさぎファミリーと合同で行うことで、幼児でも歩けるコースを家族でゆっくり安全に活動できるようボランティアや職員を配置することができた。

◆成果

- ① アンケートから、家族で十勝岳連峰の登山をとおして、自然への理解や親子の絆を深めることができた。
- ② 事前にボランティアの経験や特技を確認しておくことで、当日経験豊富なボランティアの協力を得られ、安全な登山実施の一助となった。



◆参加者の声

- なかなか個人ではチャレンジできない登山を一緒に登っていただき子どもも私も楽しむことができました。
- 山頂コースを選んで不安でしたが、サポートのおかげで無事達成できました。
- コース別山登りを山頂か 300 階段コースにすればよかった。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・今回コース変更を行ったのは、富良野岳中腹に雪渓が残っておりそこをトラバースする必要があった。しかし、参加者に幼児や初めて登山をする方がいることを考慮し、技術的に難しいと判断し、上富良野岳に変更した。
- ・コースを選択する際に、より難しいコースにチャレンジできるように不安をぬぐうような支援が必要であった。



◆事業運営費	合計	151,089 円
チラシ印刷代		103,118 円
チラシ郵送費		47,971 円

※印刷代、郵送費については全登山事業（6 事業）共通